



第81回 九州・沖縄生殖医学会

学術集会長

野見山 真理

医療法人社団高邦会 高木病院 副院長・産婦人科部長

● 第81回 九州・沖縄生殖医学会 ●

日 時：2025年4月6日(日) 9:00～16:15

会 場：**福岡国際医療福祉大学**(本館)

福岡市早良区百道浜3丁目6-40

学術集会長

野見山 真理

医療法人社団高邦会 高木病院 副院長・産婦人科部長

〒831-0016 福岡県大川市酒見141-11

TEL：0944-87-0001(代表)

学術集会長挨拶

第81回九州・沖縄生殖医学会の開催にあたって

医療法人社団高邦会 高木病院 副院長・産婦人科部長
国際医療福祉大学大学院 准教授
野見山 真理



このたび、第81回九州・沖縄生殖医学会を2025年4月6日（日曜日）に、当グループ施設の福岡国際医療福祉大学本館にて開催させていただくこととなりました。

本学会は九州沖縄の生殖医療を担う産婦人科医、泌尿器科医、胚培養士、助産師、看護師、臨床心理士、体外受精コーディネーターなど、約500名の多職種の会員により構成されています。私ども高木病院にとりましては、2017年に第74回学術集会を担当させていただき、このたび2回目の開催となりましたことは大変光栄であり、心より御礼申し上げます。

わが国の2023年の出生数は72万人台と過去最低を更新し、少子化はより深刻な社会問題となっています。一方、生殖補助医療の実施件数は2022年の保険適用後2年連続で増加し、生殖補助医療による出生児は約7万人に達し、総出生数の1割に迫る勢いです。生殖医療は社会からの関心が高く、益々重要な役割を果たす分野と考えられます。

本学術集会では特別講演2題を企画しました。講師として、山口大学産科婦人科学教授の杉野法広先生と英ウイメンズクリニック理事長の塩谷雅英先生をお迎えします。

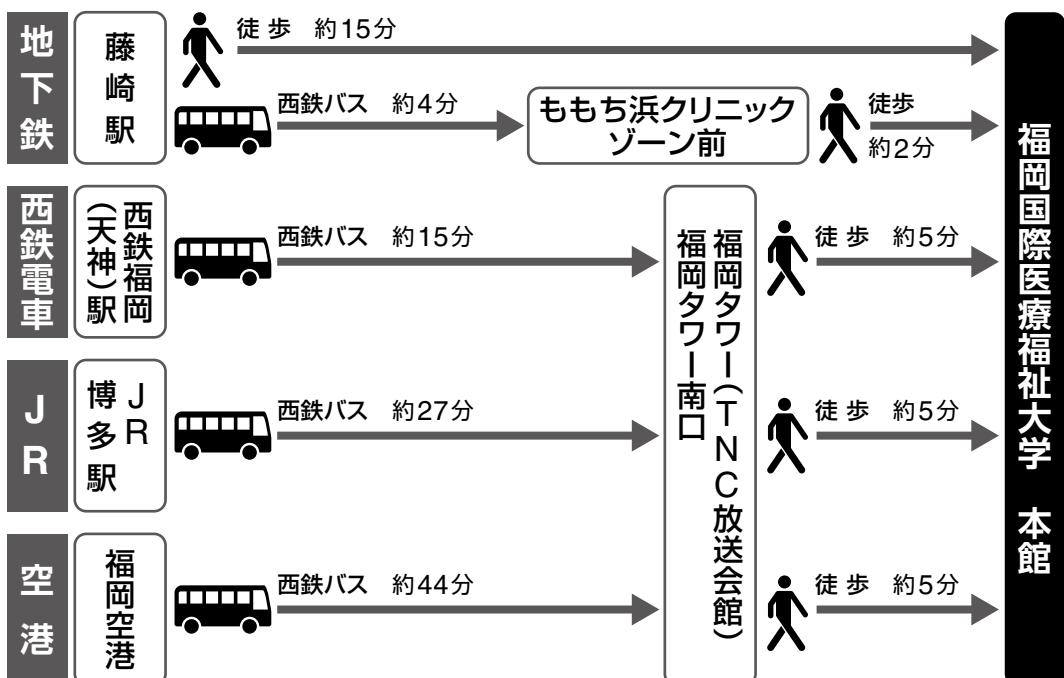
杉野先生はEditor in ChiefとしてReproductive Medicine and Biologyを高いインパクトファクターを有する国際的医学雑誌に育て上げられ、日本生殖医学会の理事長にご就任されました。私たちが今後進むべき道について視座の高いお話を拝聴できることと存じます。

塩谷先生は日本IVF学会の理事長としてもご活躍しておられ、豊富な臨床経験に基づく明日からの診療に役立つお話をしてくださいと存じます。

今回、座長には管理胚培養士や不妊症看護認定看護師の先生方にも加わっていただきました。会員の皆様の日頃の思いや疑問を活発に討議していただける場となりますことを願っております。

末尾になりますが、本会の開催にあたり、長崎大学産科婦人科学 三浦清徳教授はじめ事務局各位、協賛企業の皆様には多大なご尽力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

交通案内



会場案内

福岡国際医療福祉大学 本館

※建物入口は1階になります



参加される方へ

本会は、現地開催のみです（ライブ配信、オンデマンド配信はありません）。
参加される方は当日、現地のみの受付となります。

■ 参加費

参加区分	参加登録費
会 員	5,000円
非 会 員	5,000円
初期研修医、院生、学生	無 料

※お支払いは現金のみ・クレジットカードは不可となります。

※初期研修医、院生、学生の方は無料です。在籍証明書を受付にてご提示ください。

■ 抄録誌の販売について

本会の「プログラム抄録誌」は九州・沖縄生殖医学会会員の方には事前に郵送いたします。購入を希望される方には、当日現地にて販売いたします。

抄録誌 現地販売 1冊500円

参加される方への単位取得について

日本産科婦人科学会会員の方は会場の単位登録受付にて「JSOG カード」または「JSOG アプリ」を提示のうえ、単位登録を済ませてください。

日本産科婦人科学会会員の方は以下の単位が取得できます。

① 学術集会出席：日本専門医機構学術集会参加単位 2単位

② 【産婦人科領域講習】受講：日本専門医機構〔産婦人科領域講習〕 1単位

日本専門医機構単位付与講習〔産婦人科領域講習〕について

日本専門医機構産婦人科領域講習単位(1単位)は、セッション開始の10分前から講習参加受付を開始します。講演開始時間から10分以上過ぎた場合、聴講は可能ですが、原則として専門医機構単位付与はされませんのでご注意ください。

モーニングセミナー

「生殖補助医療—当院の取り組みー」

塩谷 雅英 先生(英ウィメンズクリニック 理事長)

ランチョンセミナー

「子宮筋腫の病態解明と臨床へのフィードバック」

杉野 法広 先生(山口大学大学院 医学系研究科 産科婦人科学講座 教授)

日本産婦人科医会の単位

日本産婦人科医会の研修参加証につきましては、シールは発行されません。

日本産婦人科医会会員番号または医会会員 QR コードの提示をお願いいたします。

日本生殖医学会生殖医療専門医の方々へ

九州・沖縄生殖医学会については、日本生殖医学会生殖医療専門医更新ポイントが10点加算されます。当日受付にて芳名帳にご記名をお願いいたします。

日本泌尿器科学会会員の方々へ

①ご参加が確認できた方には参加単位(1単位)が付与できます。

※参加証を日本泌尿器科学会専門医認定更新申請時に添付してご提出ください。

②【学術発表】泌尿器科に関する発表筆頭のみ(1単位)。

③【司会・座長】泌尿器科に関する発表の司会・座長(1単位)。

座長の先生方へ

座長の先生方は当日現地会場にご来場いただき、担当セッションの進行をお願いいたします。

セッション進行につきましては、座長に一任いたします。時間厳守で、円滑な運営にご協力をお願いいたします。

演者の皆様へ

- ・口演時間はプログラムページでご確認ください。
- ・発表時間は7分(発表5分・質疑2分)です。時間厳守でお願いします。
- ・ポスター発表は掲示のみです(口演はございません)。

■口演発表

- ・受付へデータ(USB)をお持ち下さい。動画再生がある方、Mac PCをご利用の方はご自身のPCをお持ち下さい。
- ・PCによってはプロジェクター出力に専用のコネクターが必要になりますので、必ずお持ちください。事務局で用意するのはHDMIに対応する端子のみとなります。
- ・会場スピーカーに音声は流れません。
- ・PC受付の液晶モニターに接続し、映像の出力チェックを行ってください。
- ・スクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除をお願いします。電源アダプタは必ずご持参ください。
- ・Power Pointは2020年バージョンを用意しております。これ以前のPower Pointをご利用の方はご自身のPCをお持ち下さい。尚、発表者ツールはご利用いただけません。

■ポスター発表

- ポスターはプログラムに掲載されている演題番号と同じ番号のパネルにご自身で掲示をお願いいたします。

掲示時間：8時45分～9時50分の間にお願いします。

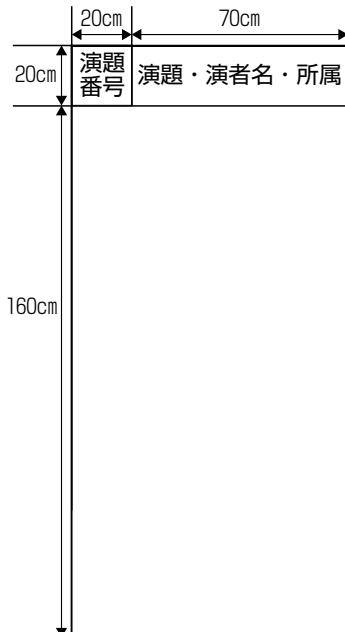
撤去時間：15時00分～16時00分の間に撤去してください。

時間内に取り外されないものは処分します。

• 注意事項

最上部の演題番号は運営事務局で用意します。

演題名、演者名、所属については横70cm×縦160cmです。内容の配置は自由ですが、末尾には必ず結論を記載してください。



利益相反開示について

臨床研究に関するすべての発表において利益相反状態の有無にかかわらず、開示する必要があります。発表時にはひな形(ppt)に準じたスライドを呈した上で、利益相反状態の有無を述べてください。開示する利益相反状態は抄録提出の1年前から発表時までのものとします。

また、利益相反状態の開示に関しては、すべて日本生殖医学会の「利益相反に関する指針(2011年9月2日施行)」に拠るものとします。

スライドのひな形は本会ホームページの演題募集ページからダウンロードできます。

第81回九州・沖縄生殖医学会 プログラム

日 時：2025年4月6日(日)

場 所：福岡国際医療福祉大学(本館)

評議員会 9:00～9:30

総 会 9:30～9:40

開 会 9:40～

学術集会長 野見山 真理（医療法人社団高邦会 高木病院 副院長・産婦人科部長）

モーニングセミナー 9:50～10:50

座長：野見山 真理（高木病院 産婦人科）

生殖補助医療－当院の取り組み－

塩谷 雅英 英ウィメンズクリニック 理事長

共催：フェリング・ファーマ株式会社

第1群 [精子調整・ICSI] 10:50～11:18

座長：泊 博幸（アイブイエフ詠田クリニック）

O-1 Migration-gravity sedimentation method を用いた精子調整装置(MIGLIS)と密度勾配遠心法による人工授精の妊娠成績の比較

○鷹巣 剛、蔵本 武志、吉岡 尚美、大塚 未砂子、蔵本 和孝、江夏 悠介、
深川 大輔
蔵本ウイメンズクリニック

O-2 電気刺激により活性化した卵から生まれた児における周産期データ

○氏福 幸来、水本 茂利、長尾 洋三、田中 啓子、戸野本 知子、
大坪 可奈子、影山 美桜、北島 真優子、本田 済太朗、蔵本 武志
蔵本ウイメンズクリニック

O-3 RCTによる1,000症例のPiezo-ICSIとconventional-ICSIとの成績の比較

○沖田 愛理、中村 千夏、松下 ゆうき、上田 真理奈、池田 早希、
江崎 彩乃、畠野 理加、白石 真璃菜、三好 潤也、小山 伸夫
医療法人聖命愛会 ART女性クリニック

O-4 ヒストン脱アセチル化酵素阻害剤 Scriptaid処理によるマウス円形精子細胞およびROSI胚への影響

○井上 怜¹⁾、竹本 洋一¹⁾、江島 和秀¹⁾、藤本 茂樹¹⁾⁵⁾、牧野 祐也¹⁾⁴⁾、
中島 大輔¹⁾²⁾、永吉 基¹⁾、田中 威づみ¹⁾、田中 温¹⁾、渡邊 誠二³⁾
1)セントマザー産婦人科医院、2)産業医科大学 産婦人科、
3)弘前大学大学院 医学研究科 生体構造医科学講座、
4)順天堂大学 医学部 産婦人科学講座、5)産業医科大学 若松病院

第2群 [胚培養] 11:20~11:41

座長：後藤 香里(セント・ルカ産婦人科)

O-5 2.1PN胚における微小核のサイズが発生能に及ぼす影響

○北島 真優子、戸野本 知子、水本 茂利、田中 啓子、長尾 洋三、
大坪 可奈子、影山 美桜、氏福 幸来、本田 浄太朗、藏本 武志
藏本ウイメンズクリニック

O-6 当院におけるレーザー孵化促進法と高濃度ヒアルロン酸含有培養液の相乗効果の検討

○矢野 綾音、北山 仁菜、衛藤 菜穂、神田 晶子、後藤 香里、甲斐 由布子、
津野 晃寿、伊東 裕子、後藤 裕子、宇津宮 隆史
セント・ルカ産婦人科

O-7 Single step融解を用いた単一融解胚盤胞移植の臨床成績

○泊 博幸、國武 克子、窪山 貴恵、内村 慶子、下瀬 瞳、北岡 杏菜、
関 葉月、北村 侑奈、詠田 真由、詠田 由美
アイブイエフ詠田クリニック

ランチョンセミナー 12:00～13:00

座長：北島 道夫（高木病院 女性医療センター／国際医療福祉大学）

子宮筋腫の病態解明と臨床へのフィードバック

杉野 法広 山口大学大学院 医学系研究科 産科婦人科学講座 教授

共催：あすか製薬株式会社

第3群 [手術(1)] 13:10～13:31

座長：銘苅 桂子（琉球大学病院 周産母子センター）

O-8 腹腔鏡下卵巣多孔術後のホリトロピンデルタ有効性の検討

○伊東 裕子、矢野 綾音、薬師寺 しおり、後藤 裕子、甲斐 由布子、
津野 晃寿、宇津宮 隆史
セント・ルカ産婦人科

O-9 当院のチョコレート嚢胞手術療法後の妊娠性の検討

○木村 剛、神山 茂、井坂 亮司、芝池 亜貴子、高山 尚子、寺田 陽子、
佐久本 哲郎、東 政弘、徳永 義光
空の森クリニック

O-10 子宮腺筋症不妊患者における子宮鏡所見について

○沖 利通¹⁾²⁾、内田 那津子²⁾、東 拓郎²⁾、酒瀬川 琢²⁾、沖 知恵²⁾、
小林 裕明²⁾

1)鹿児島大学 医学部 保健学科 成育看護学講座、2)鹿児島大学病院 女性診療センター

第4群 [手術(2)] 13:35～13:56

座長：沖 利通（鹿児島大学 医学部 保健学科 成育看護学講座）

O-11 帝王切開術瘢痕症候群に手術を行い生児を得た2症例

○三好 潤也、小山 伸夫
ART 女性クリニック

O-12 帝王切開子宮瘢痕症に対して子宮鏡下手術療法を行った6例

○折田 有史¹⁾、岩川 富喜子²⁾、山口 亜衣子¹⁾、桑鶴 ゆかり¹⁾、黒木 裕子¹⁾、
福元 由美子¹⁾、溝部 大和¹⁾、徳留 莊里¹⁾、燃脇 晴恵¹⁾、竹内 一浩¹⁾²⁾

1)竹内レディースクリニック附設高度生殖医療センター、

2)竹内レディースクリニック ART 鹿児島院

O-13 IBS[®]を使用した子宮鏡下中隔切除術の3例の報告

○牧野 祐也¹⁾³⁾、永吉 基¹⁾、中島 大輔¹⁾²⁾、藤本 茂樹¹⁾⁴⁾、田中 威づみ¹⁾、
田中 溫¹⁾

1)セントマザー産婦人科医院、2)産業医科大学 産婦人科、
3)順天堂大学 医学部 産婦人科学講座、4)産業医科大学 若松病院

第5群 [胚移植] 14:00~14:21

座長：河野 康志（大分大学 医学部 産科婦人科学講座）

O-14 二胚移植における二段階胚移植と胚盤胞2個移植の比較

○酒井 倫子、山本 新吾、中原 叶絵、池田 恵美子、松尾 則子、宮田 知子、
山本 奈理、井上 善仁
医療法人井上善レディースクリニック

O-15 ARTへの保険適用開始前後におけるDET施行の傾向変化と臨床成績への影響

○大原 紀子¹⁾、山道 里佳¹⁾、秀島 未紗子¹⁾、有馬 薫¹⁾、佐護 中¹⁾、
小島 加代子¹⁾、野見山 真理¹⁾、隈本 巧¹⁾、古賀 利子¹⁾、北島 道夫¹⁾²⁾
1)高木病院 産婦人科、2)国際医療福祉大学

O-16 当院におけるARTによる一卵性多胎妊娠の検討

○松下 ゆうき、中村 千夏、上田 真理奈、池田 早希、江寄 彩乃、
畠野 理加、白石 真璃菜、沖田 愛理、三好 潤也、小山 伸夫
医療法人聖命愛会 ART女性クリニック

第6群 [ART・その他] 14:25~14:46

座長：井上 善仁（井上善レディースクリニック）

O-17 急性リンパ性白血病再発後に妊娠性温存目的で未受精卵子凍結を行い、原疾患治療後に体外受精を行った1例

○岡本 真実子¹⁾、河野 康志²⁾、麻生 咲季¹⁾、山田 知徳¹⁾、山下 由貴¹⁾、
原田 枝美¹⁾、小林 栄仁¹⁾
1)大分大学 医学部 産科婦人科、
2)大分大学 医学部 おおいた地域医療支援システム構築事業講座 産科婦人科分野

O-18 内膜フローラ環境の改善後にART妊娠が成立した3症例

○馬場 朱里、秋吉 俊明、福嶋 倫子、熊 李花、田吉 李星、松尾 完、
南 志穂、山中 寛子、小林 あやね、岡本 純英
医療法人ART 岡本ウーマンズクリニック

**O-19 PGT-A の A 判定胚を2回移植して妊娠不成功となった患者が、
PGT-A 未施行胚盤胞の複数移植によって正常核型の双胎児を得た1例**

○藤本 茂樹¹⁾²⁾、田中 温¹⁾、永吉 基¹⁾、中島 大輔¹⁾³⁾、牧野 祐也¹⁾⁴⁾、
田中 威づみ¹⁾

1)セントマザー産婦人科医院、2)産業医科大学 若松病院、3)産業医科大学 産婦人科、
4)順天堂大学 医学部 産婦人科学講座

第7群 [男性不妊 (1)] 14:50~15:11

座長：永吉 基(セントマザー産婦人科医院)

O-20 配偶子の品質を担保する生体内管理システム

○岩森 睦子¹⁾、加藤 讓²⁾、今井 啓之³⁾、高島 誠司⁴⁾、岩森 巨樹⁵⁾

1)中村学園大学 栄養科学部、2)大阪大学大学院 医学系研究科、

3)山口大学 共同獣医学部、4)信州大学 繊維学部、5)九州大学 農学研究院

**O-21 片側の精巣がん術後に対側の精巣から精巣内精子回収術を施行した3例
～精巣がんにおける妊娠性温存の情報提供において感じたこと～**

○庄 武彦、成吉 昌一

医療法人鶴生会 MR しょうクリニック

O-22 久留米大学泌尿器科における男性不妊診療開始3年間の歩み

○上村 慶一郎¹⁾、野見山 真理²⁾、北島 道夫²⁾、小島 加代子²⁾、有馬 薫²⁾、
佐護 中²⁾、西山 和加子²⁾、古賀 利子²⁾、山谷 文乃³⁾、城戸 京子³⁾

1)久留米大学 医学部 泌尿器科、2)高邦会 高木病院 産婦人科、

3)空の森 KYUSYU

第8群 [男性不妊 (2)] 15:15~15:36

座長：上村 慶一郎(久留米大学 医学部 泌尿器科)

O-23 AZFc 部分欠失、FSH 高値で多数の運動精子を精巣上体から回収出来た1例

○内田 洋介¹⁾、折田 有史²⁾、岩川 富貴子²⁾、竹内 一浩²⁾

1)キラメキテラスヘルスケアホスピタル 泌尿器科、2)竹内レディースクリニック

O-24 US 上精巣輸出管の拡張と思われた精路の狭窄／閉塞の3例

○成吉 昌一、庄 武彦

医療法人鶴生会 MR しょうクリニック

O-25 術前に閉塞性無精子症と診断した非閉塞性無精子症の4例

○横山 裕

横山裕クリニック

第9群 [心理・看護] 15:40～16:08

座長：村上 貴美子（蔵本ウイメンズクリニック）

O-26 不妊治療の保険適用前後における不妊治療患者と必要な支援の変化

○萩原 夢¹⁾、沖 利通²⁾³⁾、神谷 舞里¹⁾、井上 尚美²⁾、若松 美貴代²⁾、内田 那津子³⁾、酒瀬川 琢³⁾、沖 知恵³⁾、小林 裕明³⁾

1)鹿児島大学 保健学研究科 看護学分野 助産学コース、

2)鹿児島大学 医学部 保健学科 成育看護学講座、3)鹿児島大学病院 女性診療センター

O-27 生殖補助医療の保険適用化に伴う治療選択への意識調査

○青木 桜、山本 佳子、甲斐 由布子、津野 晃寿、伊東 裕子、宇津宮 隆史
セント・ルカ産婦人科

O-28 児童相談所と連携をした「里親・養子縁組の説明会」を開催して

○薬師寺 しおり、甲斐 忍、後藤 裕子、甲斐 由布子、津野 晃寿、
伊東 裕子、宇津宮 隆史
セント・ルカ産婦人科

**O-29 ノンメディカルな卵子凍結後にアンケート回答した12名の女性の
思いと支援**

○高尾 ひろみ、徳永 美樹、江隈 直子、今村 奈摘、安藤 優織江、
久保島 美佳、村上 貴美子、蔵本 武志
蔵本ウイメンズクリニック

閉 会 16:10～

日本生殖医学会九州・沖縄ブロック長挨拶

三浦 清徳（長崎大学 医学部 産科婦人科）

次期学術集会長挨拶

学術集会長挨拶 野見山 真理（医療法人社団高邦会 高木病院 副院長・産婦人科部長）

ポスター発表

P-1 機能性成分エルゴチオネインによる胚着床の制御

○吉田 南海香¹⁾、村田 紘未²⁾、岡田 英孝²⁾、田中 進³⁾

1)長崎県立大学大学院 人間健康科学専攻 栄養科学コース、

2)関西医科大学 医学部 医学科 産科学婦人科学教室、

3)長崎県立大学 看護栄養学部 栄養健康学科

P-2 Vici 症候群に対する着床前遺伝学的検査の実施経験

○吉岡 尚美、大塚 未砂子、蔵本 和孝、江夏 悠介、深川 大輔、鷹巣 剛、
蔵本 武志

蔵本ウイメンズクリニック

P-3 コレステロール硫酸による胎児－母体境界領域における 新しい免疫特権環境形成機構について

○廣谷 賢一郎¹⁾、國村 和史²⁾、友延 尚子¹⁾、濱田 律雄¹⁾、河村 圭子¹⁾、
横田 奈津子¹⁾、河村 英彦¹⁾、磯邊 明子¹⁾、加藤 聖子¹⁾、福井 宣規²⁾

1)九州大学病院 産科婦人科、

2)九州大学大学院医学研究院 生体防御医学研究所 免疫遺伝学分野

P-4 保険、自費 ART での情報提供の在り方について

○谷口 美樹、日高 清美、外島 あゆみ、今井 たかね、久山 聖梨、

松田 和洋

松田ウイメンズクリニック

一 般 演 題

第81回九州・沖縄生殖医学会

学術集会長：野見山 真理

発 行 者：医療法人社団高邦会 高木病院 産婦人科
〒831-0016 福岡県大川市酒見141-11
TEL：0944-87-0001(代表)

事 務 局：長崎大学 医学部 産科婦人科学教室
〒852-8501 長崎県長崎市坂本1丁目7-1
TEL：095-819-7363 FAX：095-819-7365

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本中央区水前寺4-39-11
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025